

「素晴らしい救い主」 ヨハネ 10：10－11

I 三位一体の神（父と子と聖霊は神であり、一体のお方）の驚くべき恵み

1. 父なる神。「神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました」エペソ1：4，5。私達が教会に行く思いが与えられるのは、先に、父なる神が私達を愛し選び、その思いを与えられるからである。感謝します。「御父が御子を世の救い主として遣わされた（クリスマス）」I ヨハネ4：14。御父は、私達が滅びる事を望まれず、私達を愛し、私達の救いの為に御子をクリスマスに世に遣われた恵みを心から感謝します。
2. 子なる神。「わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます」ヨハネ10：10，11。子なる神キリストは、偉大な神であられるのに、想像できないほどのへりくだりをもって、私達人間の罪の為に十字架で死ぬ為に人間となりクリスマスに世に来て下さった。主は、十字架で私達の罪（悪い行いだけではなく、心の中の憎しみ、恨み、ねたみ、汚れ、不品行、嘘、偽り等の罪）の為に十字架でいのちを捨て、私達の代わりに刑罰を受けて下さった。感謝します。その主を信じる私達に、真のいのち、新しいいのち、永遠のいのち（永遠に神に愛され、神と親しく交わり、神を深く知り続けるいのち）を与えてくださる。「またそれを豊かに持つためです」=洗礼の日が絶頂の時ではなく、洗礼の日から、ますます、豊かな神の命、恵み、愛、平安、赦し、寛容を深く体験し、知り続ける。試練や苦しみの中で、共にいて下さるインマヌエルの主を体験し続ける新しい人生。
3. 聖霊なる神。聖霊様は、私達の心に、「クリスマスは、あなたと関係のない日ではなく、あなたの為のクリスマスですよ」と教えて下さる。「2千年前の主の十字架の死は、あなたと関係のない歴史的な出来事ではなく、あなたの救いの為に、あなたの罪の為に主が十字架で死なれたのですよ」と教えて下さる。「私は、そんなに罪人ではない」と思う私達の心に、罪とは何か（不品行、汚れ、好色、憎しみ、恨み、人を馬鹿にする事、陰口、悪口、盗み、神の救いの恵みを拒み続ける事等）を少しずつ教えて下さる。私達の救いの為に主が、クリスマスに生まれ、私達の罪を背負って十字架で死なれ、三日目に死に勝利し、よみがえられた恵み、この主が、私の救い主、神と信じる信仰を聖霊様は、与えて下さる。「聖霊によるのでなければ、だれも、『イエスは主です。』と言うことはできません」I コリント12：3。主を信じる事が出来るのは、奇蹟。人は誰も自分の頭の知識で、天と地の造り主の神を、救いの主を信じることは、決してできない。主を信じ続けていること自体が、聖霊様が、私達の心に住んでおられるしるし。感謝します！

II 神は、ある人々を用いて、私達に教会を紹介したり、教会に導かれる。すべては、すべての事を支配しておられる神の恵みである。

1. 「(神が) 遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう」

ローマ10：15

2. 「兄弟サウロ（パウロ）。あなたが来る途中でお現われになった主イエスが、私を遣わされました。

あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです」使徒9：17。

3. 「私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています」Ⅱテモテ1：5。私達は、本日、神からの励ましを受けることが出来る。子供達や人々に福音、御言葉、イエス様の事を伝えておくことは、素晴らしい事であり、決して無駄ではない事を。その人が、すぐに主を信じなくても。子供達や人々の心に蒔かれた福音の種は、時が来て芽を出す。以前、心に蒔かれた福音、御言葉が、聖霊様と共に働き、ある時に「教会に行ってみよう」という志を神は与えられる。※私自身もであるが、時満ちて、後に教会に行き、主を信じる人々と出会わせていただいている。「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです」ペリピ2：13。「時が来ると実がなり」詩篇1：3。あきらめずに、人々の救いの為に祈り続けたい。「いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだではないことを知っているのですから」Ⅰコリント15：58。

Ⅲ 神の大きな恵みへの私達の応答

1. 神の愛を受け入れ、主を心に迎える。神は、私達を愛して、私達が神のもとへ立ち返るのを待っておられる。
2. 主を信じ、洗礼を受ける。神と人々の喜びの日。「ひとりの罪人が悔い改めるなら…喜びが天にある」ルカ15：7。洗礼の意味=①信仰の公の告白。②「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の御名（原語：単数。三位一体）によって（原語：御名の中へ）バプテスマ（洗礼）を授け」マタイ28：19。洗礼は、イエス様の弟子になる入門儀式。③父と子と聖霊の三位一体の神との交わりに入れていただける恵みの洗礼。洗礼の原語：水に浸す。洗礼とは、父と子と聖霊の幸いな交わりに浸される恵みのスタート。④三位一体の神の交わりを表す教会、キリストの体である教会の交わりに、迎え入れられ大切なメンバーとなる。歓迎します。
3. 試練があっても、神はいつも共におられ支えられる。日々、心の糧である神の御言葉、聖書を読み、祈り、神と幸いな交わりをし、力をいただき、その日の使命を果たす。
4. 一人では弱いので、互いに祈り合い、愛し合いつつ、主の教会を建て上げる。
5. まだ、素晴らしい救い主を知らない方々に、愛を示しつつ、祈りつつ、福音を伝える。

クリスマスのこの時に、皆様に、神の祝福が豊かにありますように！